

平成 30 年度岩手県立大学入学者選抜概要

1 実施選抜区分と募集人員

- 【前年度からの主な変更点】
- ・社会福祉学部社会福祉学科において、アドミッション・オフィス入試の募集人員を2名から若干名とし、推薦入試(一般)のうち(県内)の募集人員を13名から15名に増員します。
 - ・また、人間福祉学科においても同様に、アドミッション・オフィス入試の募集人員を2名から若干名とし、推薦入試(一般)のうち(県内)の募集人員を11名から12名に、(全国)の募集人員を3名から4名に増員します。
 - ・すべての学部で実施している「震災特別推薦入試」は、平成30年度入試まで継続して実施します。

(1) 各学部の実施選抜区分と募集人員

区分		看護学部	社会福祉学部		ソフトウェア情報学部	総合政策学部	計
		看護学科	社会福祉学科	人間福祉学科	ソフトウェア情報学科	総合政策学科	
一般入試	前期日程	48	25	20	70	50	213
	後期日程	15	5	4	20	20	64
アドミッション・オフィス入試		—	若干名	若干名	20	若干名	20
推薦入試	一般	27	(県内)15 (全国)5	(県内)12 (全国)4	30	30	123
	専門高校・総合学科	—	若干名	若干名	20	—	20
特別入試	震災特別推薦入試	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	社会人入試	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	帰国子女入試	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	中国引揚者等子女入試	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	私費外国人留学生入試	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
計		90	50	40	160	100	440

- 注1) 看護学部において、推薦入試は岩手県内者が出願できます。
 注2) 社会福祉学部各学科において、AO入試は岩手県内・県外にかかわらず出願できます。
 注3) 社会福祉学部において、推薦入試(一般)の県内枠は「岩手県内者」から、全国枠は岩手県内・県外にかかわらず出願できます。
 注4) 社会福祉学部では、一般入試前期日程及び後期日程の各選抜区分において、第1志望学科のほか、第2志望学科の出願を認めます。
 注5) 社会福祉学部において、一般入試での第1志望学科の入学は一定の条件を満たせば3年次に転学科することが可能です。推薦入試、特別入試、AO入試、一般入試(第2志望学科)での入学は学科を変更することはできません。
 注6) ソフトウェア情報学部では、AO入試と推薦入試とを合わせて「岩手県内者」から入学定員の3割「48名」を確保します。
 注7) ソフトウェア情報学部において、AO入試と推薦入試(専門高校・総合学科)は、岩手県内・県外にかかわらず出願できます。
 注8) ソフトウェア情報学部において、推薦入試(一般)は岩手県内者が出願できます。推薦人数の制限はありません。
 注9) ソフトウェア情報学部の推薦入試(専門高校・総合学科)において、岩手県外高校は4名以内が出願できます。岩手県内高校には推薦人数の制限はありません。
 注10) ソフトウェア情報学部と社会福祉学部の推薦入試において、「一般」と「専門高校・総合学科」とは併願できません。
 注11) 総合政策学部において、AO入試は岩手県内・県外にかかわらず出願できます。
 注12) 総合政策学部において、推薦入試は岩手県内者が出願できます。

2 大学入試センター試験の利用教科・科目(総合政策学部においては、受験を要する教科・科目)

【前年度からの主な変更点】 特になし

太字表示は、必須であることを示す。

区分	看護学部		社会福祉学部	
	教科	科目	教科	科目
一般入試(前期日程)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 数I、数I・数Aから1 数II・数B、簿、情報から1 生物 物理基礎、化学基礎、地学基礎、物理、化学、地学 から1 ただし、「基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、地学基礎)」については、2科目の受験で1科目とみなします。 英語(リスニングを含む)	国 公民 数 数 地歴 理 外	国 現社、倫、政経、倫政経から1 数I・数A 数II・数B 世B、日B、地理B 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学 から1 ただし、「基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)」については、2科目の受験で1科目とみなします。 英語(リスニングを含む)
一般入試(後期日程)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 数I、数I・数Aから1 数II・数B、簿、情報から1 生物 物理基礎、化学基礎、地学基礎、物理、化学、地学 から1 ただし、「基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、地学基礎)」については、2科目の受験で1科目とみなします。 英語(リスニングを含む)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫政経 数I・数A、数II・数B 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学 から1 ただし、「基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)」については、2科目の受験で1科目とみなします。 英語(リスニングを含む)
区分	ソフトウェア情報学部		総合政策学部	
	ソフトウェア情報学科		総合政策学科	
一般入試(前期日程)	国 地歴 公民 理 数 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2 現社、倫、政経、倫政経 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学 ただし、「基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)」については、2科目の受験で1科目とみなします。 数I・数A、数II・数B 英語(リスニングを含む)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 数I、数I・数A、数II、数II・Bから1 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学 から1 ただし、「基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)」については、2科目の受験で1科目とみなします。 英語(リスニングを含む)
一般入試(後期日程)	国 数 外	国 数I・数A+数II・数B } から1 英語(リスニングを含む)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫政経 数I、数I・数A、数II、数II・数Bから1 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学 から1 ただし、「基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)」については、2科目の受験で1科目とみなします。 英語(リスニングを含む)

- 注1) 看護学部において、地歴、公民から2科目を受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。理科については、生物は必須です。
- 注2) 社会福祉学部の前期日程において、公民から2科目以上を受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。
- 注3) 社会福祉学部の前期日程において、「数Ⅱ・数B」、地歴、理科から2科目以上を受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。
- 注4) 社会福祉学部の後期日程において、公民、数学、地歴、理科から2科目以上を受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。
- 注5) ソフトウェア情報学部の前期日程において、合否判定には5科目の成績を利用します。「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」、「英語(リスニングを含む)」の3科目と、その3科目以外の科目から高得点の2科目の成績を利用します。
- 注6) ソフトウェア情報学部の後期日程において、「数Ⅰ・数A+数Ⅱ・数B」は「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」を1科目として扱うことを表しています。
- 注7) ソフトウェア情報学部の後期日程において、2科目以上を受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。
- 注8) 総合政策学部において、国語、数学、理科、外国語の4教科4科目と、地歴または公民から1科目の計5教科5科目(地歴と公民を1教科として扱います。)の受験を要します。受験した教科・科目が5教科5科目に満たない場合は失格となります。なお、地歴、公民から2科目を受験した場合は、高得点の1科目を「地歴と公民」の成績とみなします。数学で2科目を受験した場合は、高得点の1科目を数学の成績とみなします。理科で2科目以上を受験した場合は、高得点の1科目を理科の成績とみなします。

3 個別学力検査等

【前年度からの主な変更点】 特になし

学部・学科	選抜区分	個別+学力検査等			
		総合問題	数 学	小 論 文	面 接
看護学部 看護学科	一般入試前期日程			○	○
	一般入試後期日程			○	○
社会福祉学部 社会福祉学科 人間福祉学科	一般入試前期日程	○			
	一般入試後期日程			○	○
ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科	一般入試前期日程		○注1)		
	一般入試後期日程		○注2)		
総合政策学部 総合政策学科	一般入試前期日程	○			
	一般入試後期日程			○	

- 注1) ソフトウェア情報学部において、一般入試前期日程の数学の出題範囲は、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列・ベクトルのみ)」までの学習範囲を中心とします。
- 注2) ソフトウェア情報学部において、一般入試後期日程の数学の出題範囲は、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列・ベクトルのみ)」までの学習範囲を中心とします。

4 大学入試センター試験利用教科と個別学力検査等の配点

【前年度からの主な変更点】 特になし

学部・学科	選抜区分	大学入試センター試験							個別学力検査等					合計
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	総合問題	数学	小論文	面接	計	
看護学部 看護学科	一般入試前期日程	200		100	200	200	250	950			100	100	200	1,150
	一般入試後期日程	100		50	100	150	150	550			150	100	250	800
社会福祉学部 社会福祉学科 人間福祉学科	一般入試前期日程	200	(100)	100	100	(100)	200	700	500				500	1,200
	一般入試後期日程	200	(100)	(100)	(100)	(100)	200	500			200	100	300	800
ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科	一般入試前期日程	5科目×100(前掲2の表を参照してください。)						500		300			300	800
	一般入試後期日程	(200)			(200)		(200)	200		300			300	500
総合政策学部 総合政策学科	一般入試前期日程	《100》		(100)	《100》	(100)	《100》	300	250				250	550
	一般入試後期日程	100		100	100	100	100	500			200		200	700

- 注1) 大学入試センター試験の成績は、平成30年度大学入試センター試験の成績に限り利用します。
- 注2) 看護学部の一般入試後期日程において、大学入試センター試験の国語、数学は素点200満点を100点満点に、地歴と公民は素点100点満点を50点満点に、理科は素点200点満点を150点満点に、外国語は素点250点満点を150点満点に換算します。
- 注3) 社会福祉学部の一般入試前期日程と一般入試後期日程において、大学入試センター試験の教科の欄に()の付いた配点は、選択教科(科目)の配点を示します。
- 注4) 社会福祉学部の一般入試前期日程と一般入試後期日程において、大学入試センター試験の外国語は素点250満点を200点満点に換算します。
- 注5) ソフトウェア情報学部の一般入試前期日程において、大学入試センター試験の国語は素点200点満点を100点満点に、外国語は素点250点満点を100点満点に換算します。
- 注6) ソフトウェア情報学部の一般入試後期日程において、大学入試センター試験の教科の欄に()の付いた配点は、選択教科の配点を示します。数学は「数Ⅰ・数A」100点と「数Ⅱ・数B」100点の合計200点満点です。また、外国語は素点250点満点を200点満点に換算します。
- 注7) 総合政策学部において、大学入試センター試験の国語は素点200点満点を100点満点に、外国語は素点250点満点を100点満点に換算した上で、前期日程にあっては、外国語、数学、国語のうち高得点の2教科と理科・地歴公民のうち高得点の1教科を利用します。後期日程にあっては5教科すべてを利用します。(《 》、())の付いた配点は、合否判定に利用する高得点の3教科の配点を示します。)利用科目を選択する方法については、前掲2を参照してください。

5 一般入試以外の入試の出願要件

【前年度からの主な変更点】

- ・すべての学部で実施している「震災特別推薦入試」は、平成30年度入試まで継続して実施します。

区分	看護学部	社会福祉学部	ソフトウェア情報学部	総合政策学部
推薦入試	一般	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県内の高校を平成30年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者 ・岩手県内に在住の者で、岩手県外の高校を平成30年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者 	<ul style="list-style-type: none"> 【県内】 ・岩手県内の高校を平成30年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者 ・岩手県内に在住の者で、岩手県外の高校を平成30年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者 【全国】 ・高校を平成30年3月に卒業見込みの者等で高校長が責任をもって推薦できるもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県内の高校を平成30年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者 ・岩手県内に在住の者で、岩手県外の高校を平成30年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者
	専門高校・総合学科	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校設置基準（平成16年3月31日文科科学省令第20号）第6条第2項第5号（家庭に関する学科）又は第8号（福祉に関する学科）の学科を平成30年3月に卒業見込みの者 ・高校の総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、福祉に関する科目または公民から6単位以上修得（見込みを含む）したもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の職業教育を主とする学科または総合学科を平成30年3月卒業見込みの者で、調査書の成績概評がA又は④である者 ・情報科、情報技術科、情報処理科、情報工学科、情報システム科又は情報ビジネス科を平成30年3月に卒業見込みの者で、調査書の国、数、理、英の4教科のうち、少なくとも2教科の評定平均値がいずれも4.2以上である者、もしくは、少なくとも2教科の評定平均値がいずれも4.0以上である者で、情報に関する高度な資格を取得している者 注2) ・上記以外の学科を、情報に関する科目注3)を6単位以上修得（見込みを含む）した者のうち、調査書の国、数、理、英の4教科のうち、少なくとも2教科の評定平均値がいずれも4.2以上の者、もしくは、少なくとも2教科の評定平均値がいずれも4.0以上である者で、情報に関する高度な資格を取得している者 注2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県内の高校を平成30年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者 ・岩手県内に在住の者で、岩手県外の高校を平成30年3月に卒業見込み等で高校長が責任をもって推薦できる者
アドミッション・オフィス入試	—	高校を卒業または平成30年3月に卒業見込みの者等	—	—
特別入試	震災特別推薦入試	別紙「震災特別推薦入試」の概要のとおり		
	社会人入試	平成30年4月1日に満23歳に達している者で、高校を卒業したもの等		
	帰国子女入試	日本国籍を有する者等であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の教育を受け、外国において最終学年を含め2年以上継続して学校教育を受け、学校教育における12年の課程を平成28年（2016年）4月1日から平成30年（2018年）3月31日までに修了（卒業）または修了見込み（卒業見込み）のもの等(保護者が転勤等により先に帰国した場合は、その後の単身在留が1年未満であること。)		
	中国引揚者等子女入試	中国引揚者等子女であって、日本国籍を有する等の者で、高校を卒業または卒業見込みのもの等		
	私費外国人留学生入試	日本の国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有すること又は本学入学により有することとなるもの（日本国永住者を除く。）で、学校教育における12年の課程を修了（卒業）または平成30年3月31日までに修了見込み（卒業見込み）のもの等	日本留学試験を受験した者等	日本留学試験を受験した者等であって、TOEFLまたはTOEIC（TOEIC Bridgeを除く）を受験したもの（英語を母語としない者に限る）

注1)「岩手県内に在住の者」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前から岩手県内に住所を有する者をいう。

注2)「情報に関する高度な資格」については、出願の前にあらかじめ問い合わせること。

注3)「情報に関する科目」については、出願の前にあらかじめ問い合わせること。

6 一般入試以外の入試の方法等

【前年度からの主な変更点】 ・すべての学部で実施している「震災特別推薦入試」は、平成30年度入試まで継続して実施します。

区分		看護学部	社会福祉学部	ソフトウェア情報学部	総合政策学部
推薦入試	一般	大学入試センター試験を免除する。 (看護学部及び総合政策学部では大学入試センター試験の受験を推奨しています)			
	専門高校・総合学科	—	—	—	—
アドミッション・オフィス入試		—	第一次選考では、出願書類により合格者を決定する。第二次選考では、第一次選考の合格者について面接を行い、第一次選考での書類審査の結果と総合して合格者を決定する。		
特別入試	震災特別推薦入試	推薦入試と同じ			
	社会人入試	小論文、面接	小論文、面接	国数英、総合判定資料(出願書類、面接)	小論文、面接
	帰国子女入試	小論文、面接	小論文、面接	国数英、総合判定資料(出願書類、面接)	小論文、面接
	中国引揚者等子女入試	小論文、面接	小論文、面接	国数英、総合判定資料(出願書類、面接)	小論文、面接
	私費外国人留学生入試	小論文、面接	小論文、面接	国数英、総合判定資料(出願書類、面接)	TOEFL または TOEIC (TOEIC Bridge を除く) の受験を要する。 小論文、面接

7 入学者選抜日程

選抜区分		出願受付期間		選抜期日		合格発表日
一般入試 (前期日程)		平成30年1月22日(月)から 平成30年1月31日(水)まで		平成30年2月25日(日)、26日(月) (2日目は看護学部のみ)		平成30年3月5日(月)
一般入試 (後期日程)				平成30年3月12日(月)、13日(火) (2日目は看護学部のみ※)		平成30年3月20日(火)
アドミッション・オフィス入試	社会福祉学部 ソフトウェア情報学部 総合政策学部	出願	平成29年8月1日(火)から 平成29年8月3日(木)まで	1次選考	書類審査	平成29年8月18日(金)
		第2次選考書類受付	平成29年8月24日(木)から 平成29年8月25日(金)まで	2次選考	平成29年9月5日(火)から 平成29年9月7日(木)まで	平成29年9月15日(金)
推薦入試	一般 専門高校・総合学科	平成29年11月1日(水)から 平成29年11月8日(水)まで		平成29年11月26日(日)		平成29年12月4日(月) (私費外国人留学生除く)
特別入試	震災特別推薦入試 社会人入試 帰国子女入試 中国引揚者等子女入試 私費外国人留学生入試					平成30年1月19日(金) (私費外国人留学生)

※ 平成30年度入試より看護学部の後期日程試験日は平成30年3月12日のみとなる予定です。(学力検査の科目等に変更はありません。) 詳しくは平成30年度一般入試募集要項をご覧ください。